



2017年2月3日

各 位

会 社 名 キョーリン製薬ホールディングス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 穂川 稔
(コード番号 4569 東証第1部)
問 合 せ 先 社長室 コーポレートコミュニケーション部長 宮木 修次
電 話 03-3525-4707

通期業績予想の修正について

当社は、2017年2月3日開催の取締役会において、2016年5月12日（決算発表時）に開示した2017年3月期の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 当期の連結業績予想数値の修正（2016年4月1日～2017年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	120,000	14,500	14,900	10,700	145.23
今回修正予想（B）	115,000	10,000	10,400	6,600	89.81
増減額（B-A）	-5,000	-4,500	-4,500	-4,100	—
増減率（%）	-4.2	-31.0	-30.2	-38.3	—
（ご参考）前期実績 （2016年3月期）	119,483	19,636	19,995	13,639	184.28

2. 連結業績予想数値の修正理由

新医薬品（国内）では主力製品の売上げが当初予想を下回り、新医薬品（海外）では導出品に関わる一時金収入が期ずれする見通しとなったことから、新医薬品の売上予想を下方修正いたします。後発医薬品では、モンテルカスト錠「KM」の売上げが当初予想を上回る見通しとなり、売上予想を上方修正いたします。これらの結果、売上高は全体として当初予想を下回る見通しで、当初予想を下方修正いたしました。

営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益を下方修正した主な理由は、売上高が当初予想を下回る見通しとなったことによるものです。なお導出品（ガチフロキサシン点眼液）に関する米国反トラスト法違反を理由とした訴訟の和解関連費用約10億円を特別損失として計上いたしました。

なお、2016年5月12日に公表しました配当予想（年間58円/株）の変更はございません。

以 上

（注）上記予想は本資料発表時において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は本予想額と異なる可能性があります。

補足資料

1. 連結売上高について

(単位：億円)

	2016年3月期 (実績)	2017年3月期 (当初予想)	2017年3月期 (修正予想)	対前年 増減額	対当初予想 増減額
売上高	1,195	1,200	1,150	-45	-50
医療用医薬品事業	1,140	1,140	1,091	-49	-49
新医薬品	985	924	849	-136	-75
国内	929	885	840	-89	-45
海外	56	38	8	-48	-30
後発医薬品	155	215	241	+86	+26
ヘルスケア事業	55	60	59	+4	-1

2. 主要製品の売上高について

(単位：億円)

	2016年3月期 (実績)	2017年3月期 (当初予想)	2017年3月期 (修正予想)	対前年 増減額	対当初予想 増減額
国内新医薬品					
キプレス	441	333	319	-122	-14
フルティフォーム	72	129	101	+29	-28
ウリトス	75	78	76	+1	-2
デザレックス	—	19	19	+19	0
ペンタサ	161	158	155	-6	-3
ムコダイン	130	108	97	-33	-11
後発医薬品					
モンテルカスト錠「KM」※	—	41	71	+71	+30

※モンテルカスト（キプレス）のオーソライズド・ジェネリック（AG）